

=発行=

日本共産党加古川市委員会

加古川市野口町野口 144-20

Tel: 079-456-8208

メール: jcp-kakogawa@bb.banban.jp

第001号
2020年11月

民報 かがわ

少人数数学級、今こそ実現を！

コロナ感染が不安

登校できない生徒が254人

新型コロナウイルス禍で、6月に始まった1学期。兵庫県内の公立小・中学校全41市町中23市町で「コロナ感染が不安」を理由に登校できない生徒が少なくとも254人いたことが神戸新聞の調査で分かったと報道されました。



が活き、詰め込み学級で生じる、いじめや学級崩壊などの問題は大幅に軽減されるはず。学校施設も改善して少人数学級を今こそ実現するために市民のみなさん一緒に声を上げようではありませんか。

米軍の小・中学校は少人数

在日米軍



池子米軍基地の本設小学校 (逗子民報から転載)

基地内の学校は「思いやり予算」で、小1〜小3までは、1クラス当たりの生徒定員は18人、小4〜中学生は24人となっています。

大幅教員増を

日本の小学校1年生は35人、小2〜中学生は40人となっています。兵庫県では、小1〜小4は35人、それ以上は40人学級です。

我が国の教員は、事務スタッフの配置が充実しておらず授業以外の事務作業時間が長く、超過勤務が慢性化しています。主要国では30人以下の学級編成が多いこともふまえて、スクールカウンセラーなど専門人材の活用、事務職員の拡充等を図りつつ、きめ細やかな指導が行えるよう着実かつ実効ある定数改善が求められると、国の方針に定められています。

なぜ...

2004年から実施可能となった、学級編成の弾力化では、全県一律に国の基準を下回る学級編成基準を設けることができると定めましたが、ここがネックです。全県一律だと、兵庫県が少人数学級を実施することが必要ありません。

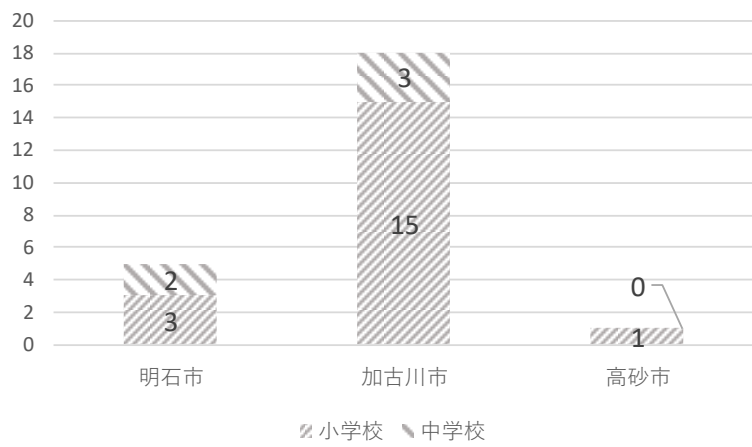
また、教員の給与は、国が3分の1、県が3分の2を負担しており、先生の採用は兵庫県となっています。市町で独自に少人数学級を実施しても県から先生の加配はなく、明石市のように単独事業となります。まず県が教育費に予算を充てることが必要です。

つらいと 思える

▼私たちの暮らしや生活では、行政サービスに頼ることが沢山あります。そのために私

たちは納税の義務が課され、行政は、市民にサービスすることが義務付けられています。▼ところが最近の加古川市政を見る時、なるべく市民の声は聞かない。市民のサービスは削る。▼児童生徒が減ると、学校の統廃合をまず検討するが、大規模校は自然減に任せ、そのうち適当な生徒数になるとして、分割も考えません。▼公設卸売市場を残して欲しいと願う市民には、「税金を投入することで期待する機能が果たせない」と一刀両断で聞く耳持ちません。▼行政とは何かを今一度考え、加古川市が先頭に立って、市民とともに歩む『惻隱の心』を持つてほしいものです。ここにも市民の声が必要です。

感染が不安で登校できない生徒数



2020/8/20、神戸新聞NEXT資料から作成

公立の小・中学校などにもすぐに少人数学級を実施し、コロナ感染の不安を取り除くことが求められているでしょう。政府からは各都道府県教育委員会に、各都道府県教育委員会からは、現場の先生たちに膨大な指示がされます。この対応に追われる学校の先生は「夜も眠れない忙しさ。もう私が学校に行きたくない」など悲痛な声が上がっています。

対策は少人数学級 実現が一番

コロナ感染予防は「3密」を避けることが大切とされています。ですから私たちは普段の生活も様変わりさせながら、感染予防に努めてきました。

先生は大変 243項目・要求がびっしり

2020年7月

9月に実施した要求アンケートには、1学級の生徒数を減らして欲しいとする要望が70%もありました。そして先生を増やして欲しいとする要望は63%あります。



超過勤務を余儀なくされ、学校からは超過勤務をしたら4週間以内に割り振りを休みなさいと言われていますが、実際には割り振りできる環境になく、先生は多変な苦勞をしています。

既に教員免許を持っているOBが低賃金で現場に戻され、コロナで遅れた授業を補っています。今後はコロナの雇用対策としての教員採用など、最大限先生を増やし、処遇改善することも必要でしょう。少人数学級では意欲や能力・工夫